

平成 26 年度第 5 回福生市子ども・子育て審議会 会議録要旨

| | |
|---------|---|
| 日時・場所 | 平成 26 年 8 月 18 日（月）午後 2 時～午後 4 時 福生市役所 1 棟 4 階庁議室 |
| 出席者 | <委員>福生市子ども子育て審議会 委員 12 名（2 名欠席） <事務局>子ども家庭部長、子ども育成課長、子育て支援課長、 生涯学習推進課長、子ども育成課長補佐、 |
| 会議次第 | 1 開会 2 会長あいさつ 3 議 題 （1）平成 26 年度第 3 回子ども・子育て審議会会議録について （2）福生市子ども・子育て支援事業計画の前回からの変更点について （3）福生市子ども・子育て支援事業計画策定に向けての基本的な考え方について（答申案） （4）新制度の利用者負担について （5）その他 4 閉 会 |
| 議事録（概要） | |
| 事務局 | 1 開会（14：00） |
| 会長 | 2 会長挨拶 来週、市長へ答申をする大事な時期を迎えております。子ども・子育て支援事業計画は、自治体によって差が出てくるという気がします。ある市では子ども像を打ち立し、それに基づいた施策をまとめている所もあります。 福生で会長をさせていただいて、皆様方が本当に熱くて一生懸命に活動されております。来週の答申時に、これまで積み上げてきた事をしっかりまとめていきたいと思っております。次第に従って会議を進めて行きたいと思っておりますので、どうぞご協力をよろしくお願いいたします。 |
| 事務局 | 3 議題 （1）平成 26 年度第 3 回子ども・子育て審議会会議録について 事務局より資料に基づき説明。 |
| 会長 | ご意見ご質問はありますか。 無いようですので次の議題に移ります。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | (2) 福生市子ども・子育て支援事業計画の前回からの変更点について事務局より資料に基づき説明。 |
| 会長 | 説明いただきました。ご質問ご意見ございますか。前回、保留になっていた理由などについて、検討していただいた結果ということになります。それではご了承いただくということでよろしいでしょうか。ご了承いただきました。次に移ります。 |
| 事務局 | (3) 福生市子ども・子育て支援事業計画策定に向けての基本的な考え方について(答申案)事務局より資料に基づき説明。 |
| 会長 | 説明いただきました。2ページ目の所、学童のことも入りますので、地域や学校、保育所、幼稚園の後に、「など」を入れとく必要があります。5番目の段落の手前、子育ての大変さを抱え込まず、地域や学校、保育所、幼稚園、学校と保育園と幼稚園だけが目立っています。などの諸機関がという文章にするか、関連機関と行政が連携してという文章の方が、分かりやすいと思います。家族と保護者の言葉の使い方の整理が必要だと思います。他にご意見などございましたら、よろしく願います |
| 委員 | 1ページ目の中ほどに、国の法律の事があるのですが、これは例えば国ではいわゆる支援法という法律のことかと思えます。同じ関連3法だと思うのですが、どちらがよいのでしょうか。一般的には支援法というのですけれど、それとも関連3法と、法律の名前なのですが、そこが支援法でもよいのではないかという気がしたのですが。 |
| 事務局 | 関連3法に関しましては、いわゆる支援法がありまして、認定こども園法、整備法があります。整備法の中には児童福祉法が入っています。それで子ども・子育て支援事業につきましては、児童福祉法が大きなところを占めますので、関連3法というような形で記載させていただきました。 |
| 会長 | ご意見ございますか。ないようですがよろしいですか。 |
| 事務局 | 意見を出していただくのも難しいと思いますので、ご意見がございましたら、水曜日の午前中までをお願いいたします。 |
| 会長 | 20日の水曜日の12時までにメールでお願いします。では次の議題でよろしいでしょうか。 |
| 事務局 | (4) 新制度の利用者負担について事務局より資料に基づき説明。 |
| 会長 | ありがとうございます。これはいつまでに決まるのですか。 |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 11月初旬には方向性を決定したいとおもいますので、次回に詳しい資料をお出しします。 |
| 会長 | 今の国の制度と福生の取り組みについて受け止め、その後の審議会の中で資料として出される時に検討すればよいということによろしいですか。 |
| 事務局 | その通りです。 |
| 会長 | 幼稚園とか保育園それぞれについてですが、学童クラブは関係ないのですか。 |
| 事務局 | 学童クラブは含まれていません。 |
| 会長 | 学童クラブは現行制度の徴収料はそのまま行くという事になりますか。 |
| 事務局 | 現行は4,000円で、そのままになる予定です。 |
| 会長 | 4000円とのことです。変えたい場合はどうしたらよろしいですか。 |
| 事務局 | その場合は市長が審議会に諮問をします。 |
| 会長 | 学童クラブが今4000円です。この事に関して、いずれ検討をするわけです。学童保育については今の4000円を下げるのか上げるのか分かりませんが、料金改定をする場合はどうしたらよいのですか。 |
| 事務局 | 国では、学童クラブについて特に規定はありません。今回保育園については、国は限度額を設けています。学童保育については、現状維持をしたいと思います。 |
| 会長 | 学童保育は実際にどのくらい利用度があるか分かりませんが、新制度では6年生までになりますが、同じ額でよいということですか。 |
| 事務局 | そのとおりです。 |
| 会長 | 一応問合せをしました。何かご意見はございますか。 |
| 委員 | クラブ活動費が厳しいので、検討していただきたいと思います。 |
| 委員 | 消費税が上がったこともあって、1か月1000円をやりくりして、手作りおやつを増やしたりしているのですが、もう少し上げてもらう事を検討していただけるのであれば、話し合いをしたいと思います。 |
| 事務局 | 議会につきましては、幼稚園と保育園の利用者負担について審議していただきます。今聞きましたクラブ活動費につきましては、事業者と市の間で、検討して |

| | |
|-----|--|
| 会長 | <p>いきたいと考えるので、この審議会からは除かれる部分だと思います。</p> <p>こちらの要望については、お預けしてよろしいですね。</p> |
| 事務局 | <p>委員の方からお聞きし、今年度中にクラブ活動費について、施設管理者と検討していきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>ご説明いただいた中でご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。ないようですが、これから先の会議の中で利用者負担についての基礎になる考え方です。今後、この資料を見ていただきながら、検討していきたいと思います。それではこれでよろしいですね。ありがとうございました。</p> <p>資料2ですが、このままでよろしいかという検討が必要になります。アンケート調査の実態や量と確保の見込み、次世代育成支援行動計画の評価などについては、今までの会議の中で審議しておりますが、気になる所がいくつかあるのですが、それはどうしたらよろしいですか。</p> |
| 事務局 | <p>事業計画案につきましては今日新たに、追加等しました。これを見ていただき、お気づきの点がございましたらお願いします。なお、ご意見につきましては、事務局に水曜日午前中までをお願いしたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>わかりました。お気づきの点ございましたら、言っていただけたらと思います。気になる所としては、1 ページ、次世代育成支援行動計画これは前期と後期だと思しますので、ここは前期を入れるべきと思います。</p> <p>30 ページと 35 ページ、認定こども園が2か所整備と書いてありますが、2か所開設や設置されているということだと思います。児童館についても 35 ページに3館整備という言葉になっています。36 ページ、子ども家庭支援センター事業は従来型から先駆型、これが読んでいる側からはどういう意味なのかよくわかりません。</p> <p>53 ページが総括になっています。ここの4段落目、しかしながらの所です。ここは二重線で引いた部分を削除して、文章を修正したと先ほど伺いました。しかしこの部分は子育てしつけの事で 46.1%が不安があり、その要因は核家族化のことで知識不足ということが文脈上で読み取れます。福生市の核家族化の関係については前の資料では、核家族は減っているとありました。ということは核家族化が減っているにもかかわらず、核家族化を入れると言うことの意味合いをどう受け止めたらいいいのかということがあります。子どものしつけなどに不安があるということが子育てについての知識が十分に得ていないから不安だと言いきってよいものかどうかという点もあり、再度文章の修正が必要です。また、ヒアリング調査は誰に対して行ったのかということも文章上には入れておく必要があると思います。次の段落です。ここに書いてあるものをそのままを評価するとしたら、保護者や親の責任を問いているということが文言上見えます。その次の「そのためには地域社会のあらゆる分野における全ての構成員が子ども・子育て支援の重要性に対する関心や理解を深め、参画と協同の考えを持ってそれぞれの役割を果たす事ができるよう」となっていますが、地域における子育て支援の機</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>能を強化していることが重要ということで、保護者や親の責任を総括に入れるということは、厳しいものがありますことから文章の修正が必要です。次に下から2行目に「ライフステージに応じた多様な」とありますが、保護者と地域の方々など誰のことなのか分かりません。</p> <p>次に54ページの基本理念、「子どもの育ちと子育ての喜びが実感できるまち」この標語はよく考えられたのだろうと思います。ここの文章を見ていると、保護者に対してすごく強く成長して行かなくては親として認められないと読めます。55ページのすべての子どもとその家庭に立った支援の1行目、子どもは社会の希望、未来を作る力ですと書いてありますが、左側のページの理念の所には出てこないと思いました。子どもをどのように位置付けていくのかということ、子どもという存在、生まれて来る命、生まれている命、その子どもというものを福生はどのように考えていきますかということが、左側のページには出ていないと感じます。そうすると右側の55ページの(1)に、親としての自覚を高めつつというように書いてあることから、親をどのように支援するのが繋がっていないと、子どもの育ちと子育ての喜びが実感できる子育てが大丈夫なのだろうかと思います。保護者の学びの支援をすると書いてあることがこのことだと思いました。</p> <p>56ページの(4)です。男女共同参画の下から3行目ですが、ライフスタイルやライフステージの中で自分はこうありたいという想いや考え方、方向性など、本人の希望がかなえられるように取り組むということが読み取れませんでした。57ページの基本目標1、子どもの特性に合わせたとありますが、子どもの特性ということは、一人一人を見て行くという事なのか、どのような事を指すかが分かりません。基本目標3、下から2行目の次代を担う若者の子どもを生み育てる喜びは、全体の統一性などから考えた時、ここに入っていれば一連の切れ目のない支援ということにつながって読み取れると思いました。84ページの施策の方向3、上から3行目の「特に自らの課題を発見し解決する力、他者と協同するためのコミュニケーション能力」とありますが、コミュニケーション能力は他者と協同するための、と繋げてよいのかどうか気になりました。90ページの所、小規模保育事業は開設するのですか。他の方もがお気づきの点があれば、どうぞ言っていただきたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>今頂きました事については文章を修正し、委員の方に配信します。また、小規模保育事業は、計画の中の量の見込み、確保方策で、0歳、1歳が不足すると見込まれますので、定員を増やす方向性を出しました。その方策として小規模保育事業を開設する事が選択肢の1つだとしています。</p> |
| 会長 | <p>わかりました。91ページの防犯の事に関して、満足度の現状が15.7%です。これを増加としています。現状が低いです。防犯についての施策に取り組むとしています。また、93ページの住環境についても同じように変えていきますということになっています。これらの取組みはどうなりますか。</p> |
| 事務局 | <p>92ページにつきましては、3番と4番を新たに追加し充実となっています。これは、通学路等の防犯活動の推進を図る予定です。来年度は東京都や国から、補</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>助金が出る予定ですので、それを活用して実施しますので、充実としました。</p> <p>93 ページの住環境整備ですが、住宅施策につきましては、今庁内で検討会議を設け、その報告書が今年度末には出ると思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>わかりました。お気づきの所とかありますか。水曜日の午前中まででよろしいとのことですが、お気づきの所、関連する所、ご自分の得意とする所、資料で今までご説明いただいています、水曜日の午前中までに、意見を出していただいて、それを集約して、その後メールで配信されるということですが、どのようになりますか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>修正した箇所だけを配信させていただきます。</p> |
| <p>会長</p> | <p>水曜日の午前中までに意見を出したら、その後月曜日の市長に答申する時には文言が修正されるとのことです。他にご意見はございますか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>75 ページに、母子保健の施策があり、それぞれの事業の説明が書いてあります。方向性が継続の事業は、事業内容はそのままだと思いますが、NO6 と 77 ページのNO2 は、事業内容の文言に充実と努めますと書いてあります。そこを見ると方向性は継続でも、事業内容に充実と書かれているので、この言葉は揃えなくてよいのでしょうか。6 番の相談指導、他の項目も事業の充実を図るとしていますが、方向性が継続となっています。78 ページ、小児医療の充実とあり、乳幼児に関する医療の充実を図るため、小児科医の確保を要請していきますとありますが、それは今現在小児科医が不足していたり、乳幼児医療が不十分だという現状認識があつてこう書かれていると思いますが、始めの方の現状分析にはそのような話題が出ていなかった気がします。全体を見ていくとわりと社会増減というか、転入に比べて、転出が多いことが、1 ページにも人口減少が続いていますと書いてあります。その原因が、出生は減っているのだけれど、転入より転出が多く人が流れ出てしまうとあり、それが次のページを見ると 30 代、40 代の若い方が出て行ってしまう。20 代は最近結婚しないということが人口の増減に影響をしていると思った時に、文言が少子化のためにピークが 14 年をピークに人口減少が続いているということもどうなのか、昨年から転出面に関してどのような議論がされたのかと思いました。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>流出、転出に関しては、議論は特に無く、資料にあるように、転出傾向です。子どもが小学校に入るところに転出してしまうという傾向があるという現状を、第 1 回の審議会でも説明をしております。それをどうするかという論議はなかったですが、この計画自体が転出傾向に歯止めをかけることにもつながると思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それぞれの家庭がどのような所に住んでいるのかは個別のデータはないようなのですが、子どもが少し大きくなった時に、家を持ちたいと思う人もおり、その時、福生の中で少し広いところ、例えば子どもが少し大きくなったということで、部屋を 1 つ増やしたいとした場合、住む場所を例えば 2K から LDK にしたいということがあった場合、福生市内では住環境の選択肢が少ないということが</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>要因としてあるのではないかと思います。それと子育ての渦中の方たちは、比較的早めにお家をお持ちになる傾向があります。</p> <p>そうすると福生に住む時に、自分たちの経済状況や生活、ライフスタイルなどから考えた時に選択肢として選べる場所が少ないと、他の地域で求めている物があるか見て、転出してしまおうのではないかと思います。他の地域に行かれた方が、福生の子育ての支援状況が当然転出先にもあるのだろうと思ったら、そこは全然違って、でも家は買ってしまったから、いまさらそれを戻すことはできません。そういう情報も入ってきているようです。それをくいとめること、福生は子育てするには、大変よい環境下にあると考えられ、ふっさっ子の広場があるということも大変よい環境です。地域の方が動いておられ、それぞれが熱い方たちです。大変よい環境下にあるだろうと思います。それでもなお転出傾向ということは、その要因の1つは住環境があるかもしれない、そうだとすると都市計画マスタープランなどとの関係で考えていただければ、活路が見えるだろうと思います。子どもには広い場所でプライバシーや自分の時間が持てることも大事な要素だと親御さんが思われたら、転出にふみきる方もいると思います。</p> |
| 委員 | <p>移動してみて、福生はあんなに良かったのと思う感じなので、他に比べてこんなによいのですよという所が、皆さんに伝わるとよいと思います。</p> |
| 会長 | <p>子どもの位置づけをどのように置いて、それに対してみんなが希望を持ちながら、お年寄りや、子どもを持っていない方たちも、子どもを見れば元気が出てくるようなまちづくりが、計画に入れば、暖かいホットなまちだと思います。それから小学校での新規事業の立ち上げがあるということから、みんなで参画し協同するという兆しや、芽吹き、などがどこかに伝わるようであってほしいと思います。</p> <p>子どもの育ちと子育ての喜びが実感できるまちというのは、子どもがそこに据えられているということですが、その下を読むとそのことが生きていないようにみえ、残念だと思います。そこを検討し、計画に組み入れられていくとよいと思います。</p> |
| 委員 | <p>具体的に親が子どもを育てて、育てていく喜びをどう感じるかという姿が、ここに書かれてくるとよいと思います。55ページのすべての子どもとその家庭にたった支援について立ち位置を変えて書くとよいのではと思います。ここに書かれていることは福生だからこそということを書いておかなくは福生の子育て審議会の答申としては弱いので、これは必要だと思います。どういう立ち位置でこの事を書くかというのが重要なポイントかなと、先ほどから見ていて思っています。</p> |
| 会長 | <p>地域としての暖かさというものが文面に表れてくるとよいと思います。</p> |
| 委員 | <p>並行して行われている、ふっさっ子未来会議でも同じことが言われており、PTAの方たちが委員として出られていて、福生の子育て支援すごい、それをもっと広めて、たくさんの方が利用できるよになるとよいという話が出ています。</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>会長</p> | <p>公立の保育所や幼稚園がないのに関わらず、それぞれの所が温かいということ はわりと珍しいと思います。保育所や学童などの関係・連動について、その繋が りがあまり無いと聞こえてくる所が多いのですが、福生は違うと思えます。小学 校は組織として連絡を取りやすいことかもしれませんが、繋がりがあうことは随分 あります。地域のよさが作られ、福生をふるさととして、ご自分のまちとして、 まちづくりをしてこられた成果だろうと思います。量の見込みや確保方策に関し てはきちんと考えなくてはなりません。それは確保されたとしても、その中で どのように機能していくのか、働いてくのか、そこが生き生きと動くのか、とい うことによって違ってきます。そのことが伝わるとよいと思います。核家族が減 ってきているということはよい事で、出生率が 26 市で比べると比較的よい方 です。そのことをもう少し言ってもよいと思います。20 日の午前中までに何ペー ジにこんなことを入れてください、このようなものが入ったらよろしいか等、ご 意見をいただきたいと思えます。</p> |
| <p>委員</p> | <p>核家族が減っているということは、もしかしたら単独世帯が増えているとい うことですか。</p> |
| <p>会長</p> | <p>少子高齢化と核家族が増えているということですが、核家族ではない方が少し 増えてきているということです。家族が多くなってきている。ただし途中で転出 していくことが問題ということです。切れ目のない子育てをすることについて、 はっきり見えてくる必要があると思います。そうすると理念にあたる哲学、標 語はそのまま生きる訳です。福生の保育・教育の事に対する考え方など対して少 し肉を付けていけばより生きてくると思えます。どこの市町村も計画策定しな ければならない訳ですが、違いは出てくると思えます。次の議題その他になります。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>(4) その他 次回の審議会の日程につきまして、報告いたします。次回につきましては、8 月 25 日午後 2 時から、場所は、本庁舎第 1 棟 4 階庁議室になります。なお午後 2 時より 1 時間会議を行った後、午後 3 時に市長への答申を行います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>4 閉会 次回の会議は 8 月 25 日 2 時からでお願いします。意見がありましたらメール 等で事務局までお願いします。他にないようでしたらこれで本日の会議は全て終 了いたしました、以上を持ちまして平成 26 年度第 5 回子ども・子育て審議会を 閉会いたします。ありがとうございました。</p> |